

目 次

. 総括研究報告

- 我が国の世界保健総会等における効果的なプレゼンスの確立に関する研究-----3
 渋谷 健司 東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学 教授

. 分担研究報告

1. Japan's contribution to making global health architecture a top political agenda by leveraging the G7 presidency -----11
 坂元晴香 東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学 特任研究員
 渋谷健司 東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学 教授
 阿部サラ 国立がん研究センター 研究員
2. Context and challenges of Japan's health system -----25
 坂元晴香 東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学 特任研究員
 渋谷健司 東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学 教授
3. Health care financing in low- and middle- income countries -----33
 ミジャーヌール・ラハマン 東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学 特任助教
 坂元晴香 東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学 特任研究員
 野村周平 東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学 助教
 渋谷健司 東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学 教授
4. Global Health Diplomacy Workshop -----51
 明石秀親 国立国際医療研究センター 運営企画部長
 三好知明 国立国際医療研究センター 人材開発部長
 坂元晴香 東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学 特任研究員
 野村周平 東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学 助教
 渋谷健司 東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学 教授

. 参考資料 -----63

- 参考資料 1 Japan's contribution to making global health architecture a top political agenda by leveraging the G7 presidency

参考資料 2 Country Chapter 7 - Japan. Resilient and people-centred health systems: Progress, challenges and future directions in Asia

参考資料 3 Progress towards universal health coverage in Myanmar: a national and subnational assessment

参考資料 4 Global Health Diplomacy Workshop in Japan, agenda

IV. 研究成果の刊行に関する一覧表 -----119